



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



ガバナー公式訪問

第2680地区 橋本一豊 ガバナー

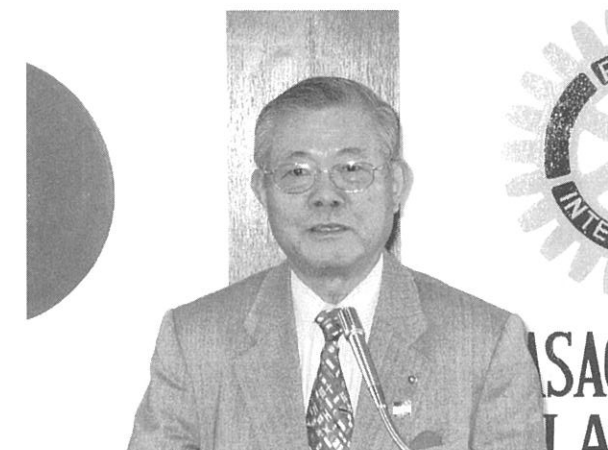
台風、地震と災害が相次いで起っておりますが、義援金の件は各クラブでよろしくお願い致します。

さて、愈々、ロータリー100周年の年度がやって参りました。

1905年4人の創立会員でつましく始まったロータリーは、120万人の会員を有する力強い組織に発展しました。

この一世紀、世界は多くの出来事を通して変化し続けてきました。ロータリアンはその中でロータリーを通じて人類の向上を目指し、夢あるプログラムを生み出して来ました。

国際親善奨学金が創設され、110カ国から35,000人の奨学生が親善大使として活躍しました。16,000件のマッチンググラントは



識字、健康管理、環境保全等、援助を求める地域に奉仕活動をして来ました。また20億人をこえる子供達にポリオ・ワクチンを投与し、122カ国がその恩恵を受けました。ロータリーはポリオ撲滅のために努力することを約束しました。

さて今年のR.I.会長エステスさんのテーマ



澤田 孝彦

本日は、橋本ガバナーはじめ随行者の皆様、公式訪問御苦勞様です。

中谷 利幸・志方 正昭・田水 敬雄
田中 浩行・内橋 英昭・藤本 顕
柿木 國夫・鹿間 行雄・西田 光衛

橋本ガバナーをお迎えして。庄司補佐ごくろうさまです。

西中 亮二・増田耕太郎・大橋 卓司
垣迫 雅一・田中 伸明・吉田 一富
矢野 聡・植杉成一郎・井野 隆弘

橋本ガバナーをお迎えして。

廣瀬 明正

結婚祝有難うございます。

例会記録 2004. 10. 27 (水) 通算1277回

ソング 「奉仕の理想」「歓迎歌」

本日のゲスト 橋本 一豊 第2680地区ガバナー
庄司 治 ガバナー補佐
近藤 利弘 ガバナー随行者

来訪ロータリー アン報告 新井 哲三様 (高砂R.C.)

出席報告 10月6日 会員数 51名 欠席者 1名 出席率 98.04% <修正による>
10月27日 会員数 51名 欠席者15名 出席率 70.59%

Neighbor-club information 近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
加古川中央ロータリークラブ	3クラブ合同例会のため	11/25 (木) PM6:00 ~ 於: 加古川プラザホテル
姫路中央ロータリークラブ	親睦1泊旅行のため	11/11 (木)
〃	献血例会のため	11/25 (木)
明石西ロータリークラブ	休会	11/25 (木)

会長 小西 文孝 幹事 都 倉 達 殊 クラブ会報委員長 庄 司 武
例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)
事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

は「ロータリーを祝おう」であります。然し、100周年はただ単に過去を振り返る事ではありません。それは同時に現在を見直す時であると思います。

R.I.会長の2004年～05年の強調事項は水管理（資源）、保健問題、識字率向上、ロータリー家族です。

そして100周年の3大目標は

1. ポリオプラスにおける前進
2. 会員増強
3. ロータリー財団支援 で、100周年2大記念活動は

1. 双子クラブプログラムへの参加
2. 100周年記念奉仕プロジェクトです。

100周年の会長賞は、クラブで、職場で、地域で、世界で、ロータリーを祝おうの奉仕の機会は今12項目あります。例年通り、人数によって達成項目数を決めていますので、是非挑戦いただきたいと思えます。

私は本年楽しいクラブ作り、下げ止まりから増強へ、そして100周年と申しました。ロータリーはクラブが原点であります。R.I.の目的は、従来は

- a. 全世界にわたってロータリーを奨励し助長し拡大しそして管理すること。
- b. R.I.の活動を調整し全般的にこれを指導すること。

でしたが、今年の規定審議会で、「R.I.の目的はロータリーの綱領を推進するプログラムや活動に従事する上で、会員であるクラブや地区を支援すること」となりました。「慈愛の種をまこう」といわれたビチャイ・ラタクルさんは、まず、クラブに種をまこうと言われました。

私は、「友愛と寛容の心で楽しいクラブ作りを」と申し上げましたが、ロータリアンは、業界を代表する人の集まりですから、寛容の心が大切であると思えます。

ポールハリスは、友情はロータリーの礎であり、寛容はその接着剤であるといっています。

それと、「楽しいクラブ」はゴルフなどの同好会がかなり活動してクラブの活性化に役立っていると思えます。

本山直前ガバナーは、「会員の減少に歯止めを」といわれました。地震の年は、会員数が減りましたが、その後増加した年度もあり、顕著に減少傾向になったのは、98～99年度で、本山年度が46名の減少で、過去3桁が続いておったのが、歯止めがかかっているといえます。もうそろそろ、楽しいクラブ作りで反転してもよいと思ひ、「下げ止まりから増進へ」とし、ボトムアップで、各クラブで目標を出していただいた結果、地区全体で276～282と、かなり意欲的な数字をいただきました。当クラブも3名の目標をいただいております。

会長賞は純増2名ないし3%増ですが、特に本年は、会員増強拡大賞が設定されて居りますので、頑張ってくださいと思えます。その内容は、

- 地区内で最も高い増強率を示したクラブ
- 地区内で最も多くの新会員を獲得したクラブ
- 地区内で最も高い退会防止率を上げたクラブ
- 新クラブを提唱したクラブ

そして100周年ですが、100周年記念活動のひとつ、社会奉仕プロジェクトを各クラブにお願いして居ります。当クラブは、高砂クラブと75周年記念事業として肥満防止についての事業を展開されました。100周年記念誌にも各クラブの記念事業を掲載するつもりですので、是非積極的な取り組みをお願いいたします。

さて、私がアナハイムの国際協議会の講演で一番感銘を受けたのはビチャイ・ラタクル元R.I.会長の「来し方顧み、行く先見つめて」という講演でありました。中身は職

業奉仕に関するもので、この講演に感銘を受けられた2580地区の佐藤千寿さんは、R.I.本部の日本語訳は読みにくいので、佐藤訳を送っていただきました。ロータリーの友7月号に巡礼ロータリー100年のタイトルで佐藤さんの講演が掲載されて居り、その中でもふれられております。ビチャイ・ラタクルさんは、ロータリーに課せられた最も重大な挑戦課題でありながら、このところずっと無視されてきた、それは職業奉仕！そして、エンロン社のことを取り上げ、職業奉仕の主眼は職業倫理の向上だと。また更に、つい先ごろもそうであったが、世間は再び大小を問わず企業の運営とまたロータリーをも含めて非政府組織の仕事振りに対し、その誠実度、公明度に疑問を投げかけている。ロータリーもひとりよがりの自画自賛している時ではないという意味です。「4つのテスト」を口で説くより実行することが緊急の課題となっているのがまさしく今現在である。

ロータリーには二つの要石がある。それは、親睦と職業奉仕です。これを忘れたら、ロータリーは必ず衰退し、信望を失います。あなた方がクラブを訪問される際、生活の質を高める上で、またロータリアンたる者の倫理・誠実を維持する上で職業奉仕による絶大なる潜在能力について時間を割いてお話し下さるようお願いいたします、といわれました。そしてわれわれに対し皆さんは地区でたった1人の国際ロータリー役員として片時も自制心を失わないようにして下さい。私はこの講演の訳を地区の職業奉仕委員に配りました。今年の職業奉仕委員は、10月の職業奉仕月間に各クラブで卓話が出来よう、ガバナー補佐の皆さんにお願いして居ります。この講演のせいでしょうが、今年の規定審議会で、「職業の倫理的規範に対するロータリーの決意を

実証する事業生活の充実・育成を強調し、これらの道徳・基準を実践する会員を探し出す件」が採択されました。

さて、地区の活動ですが、地区の委員会も段々多くなってきて、今年はオーストラリア9600地区との間で語学研修と短期研修をはかる国際交流委員会と財団支援につながるロータリーカード普及のためのロータリーカード委員会が増えました。ロータリーカード申込書は各クラブに直送しておりますので、積極的な入会をお願いいたします。ゴールドカードは、10,000円の年会費の内3,000円が財団寄付となり、会員が10,000人を超えますと利用金額の0.3%が財団寄付となります。つまり10,000円で30円となります。本年度の地区活動としては、新世代委員会の活動に重点をおきたいと考えております。もう一つ、地区の取り組みの中でプロジェクトが最近格段にふえて参ったのが世界社会奉仕のプログラムであります。昨年今井PGの提唱で、地区で取り上げたインドLow Cost Shelter 完成式に今年地区からかなり参加いたします。当クラブは、WCSと双子クラブの取り組みを検討中とのことですが、よろしく願いいたします。

さて、財団寄付の目標を各クラブで出していただいて大阪大会で発表すると申し上げましたが、去る5月25日、大阪で開催された国際ロータリー年次大会において、カルロ・ラビッツァロータリー財団管理委員長は、「現在までにロータリークラブの47パーセントが目標額を提出しています。現在449地区の15,267のクラブからの目標総額は、米貨61,173,400ドルです。残りのクラブが目標額を提出すれば、年次プログラム基金におよそ100,000,000ドルをもたらすことが期待できます」と述べました。

ラビッツァ管理委員長は、「創立100周年

における我々の成功は、1人あたりの寄付によって測られるものではなく、我々の願いや夢がどれくらい果たされるか、そして我々の寄付が使われることによって子供たちや家族、若者たちのニーズを叶え、彼らにどのような恩恵を与える事ができるかによって測られるものなのです」と述べています。

Polioプラスですが、2003年から2005年までに世界で8,000万ドル、日本は16,000万ドルの目標ですが、2004年6月30日現在11,556,000ドルとなっています。当地区は1人当たり144.36ドルとなっており150ドル目前です。

財団寄付、目標2,800ドル、米山奨学会特別寄付10,000円を目標にしておられるとの事。米山奨学会ですが、今まで過去の基金を取り崩して、年間1,000名を確保して参りましたが、今年はずいに800名、1人あたりの給付も、学部生は2万円減の10万円、修士・博士課程は月間1万円減の14万円となりました。

GSE交換、今年は、本山直前ガバナーが決めてこられた5080地区と1年で双方の交換をやってしまいます。来られる方のホームステイを始めとするお世話は、尼崎、阪神第1、第2、東播第2の4グループにお願いする事に決まりました。去る8月18日～19日には、100周年記念IAC大会がしあわせの村で開催されました。地区IACクラブも21になりました。

① 昨年に続いて地区のチャリティゴルフ大会を10月18日に開催いたしました。

(9600地区からの研修生受け入れの基金にしたい)

② 2005年2月23日前後の例会を100周年記念例会としてロータリーを祝っていただくようお願いして居ります。これも記念例会について、75周年と同じく100周

年記念誌に掲載いたします。

③ 100周年記念地区大会は、2005年3月5日、6日を予定して居ります。100周年の冠にふさわしい大会を目指して企画中です。登録並びに大会参加、よろしくご協力をお願いします。

④ RYLAセミナー100周年記念 3月24～27日(参加者の推薦、参加をお願いいたします。)

2005年4月30日ですが、R.I.会長グレン E. エステスSr.夫妻をお迎えして国際ロータリー100周年記念、R.I.会長主催祝賀会議が開かれます。これは、全てのロータリアンが参加できる集まりとし、テーマは、「ロータリー100周年を祝い未来を語ろう」で、職業奉仕を始める5つのワークショップを予定しております。当地区の割当は47名ですので、是非意欲的な参加を期待して居ります。

さて、100周年の棹尾を飾るのは、シカゴでのロータリーの原点をさぐる大会であります。大阪大会4万5500名の刺激を受けたのでしょうか、目標は10万人と云っているそうです。そして、地区の在籍メンバー数と登録人数の割合により、リポートを出すことを考えているようです。

ロータリー記念国際大会に多数の参加をお願いします。

Secretary 幹事報告

第14回 通算1207回

1. 国際ロータリーより
ロータリアン誌が届いています。
2. 高砂市共同募金委員会より
赤い羽根共同募金運動のお礼が届いています。
3. (財)ひょうご子どもと家庭福祉財団より
「しあわせの総はがき」頒布ご協力のお願いが届いています。
4. 高砂市吹奏楽団より
第21回定期演奏会のご案内が届いています。
5. 生野学園中・高等学校より学園祭の案内が届いています。
以上回覧致します。
6. 例会変更

姫路中央ロータリークラブ

11月11日(木) ⇒ 例会変更
親睦1泊旅行の為

11月25日(木) ⇒ 例会変更
献血例会の為

明石西ロータリークラブ

11月25日(木) ⇒ 休会

President 会長の時間

本日は、ガバナー公式訪問です。

午前11時15分より12時15分まで橋本ガバナー、随行者 近藤利弘様をお迎えして会長、幹事との懇談会を行いました。懇談会を通してガバナーからいろいろとご指導を頂きました。今後のクラブ運営に役立てたいと思っております。有難うございました。

この後、橋本ガバナーの卓話があります。ガバナーよろしくお願い申し上げます。

Donation ニコニコ報告

2680地区ガバナー 橋本 一 豊

寸 志

ガバナー補佐 庄 司 治

橋本ガバナーに同行しての御挨拶

小 西 文 孝

本日の公式訪問に際しまして、橋本ガバナー、庄司ガバナー補佐、随行者近藤利弘様、ようこそお越し下さいました。

よろしくご指導の程お願い申し上げます。

栗 原 康 高

橋本ガバナーをお迎えして。

都 倉 達 殊

本日は、橋本ガバナーはじめ、随行者の方々公式訪問御苦勞様です。

プログラム予定

11月3日(水)	11月10日(水)	11月17日(水)	11月24日(水)
休 会	卓 話 菱田克己 会員	地区補助金小委員会 大森千里 委員 (ロータリー財団委員会担当)	卓 話 内橋英昭 会員